当期経常外増減額	△ 283,552	0	△ 283,552
当期一般正味財産増減額	73,151,041	55,052,424	18,098,617
一般正味財産期首残高	78,575,947	23,523,523	55,052,424
一般正味財産期末残高	151,726,988	78,575,947	73,151,041
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	151,726,988	78,575,947	73,151,041

公的個人認証特別会計財務諸表に対する注記

1　重要な会計方針

⑴　固定資産の減価償却方法

什器備品……定額法による減価償却を実施している。

ソフトウェア……定額法による減価償却を実施している。

リース資産（所有権移転外ファイナンス・リース）

……リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法による減価償却を実施している。

⑵　引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金……期末退職給付の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

⑶　消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	—	—	—	—
小　計	—	—	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	683,100	175,100	0	858,200
小　計	683,100	175,100	0	858,200
合　計	683,100	175,100	0	858,200

3　基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産	—	—	—	—
小　計	—	—	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	858,200	—	—	(858,200)
小　計	858,200	—	—	(858,200)
合　計	858,200	—	—	(858,200)

4　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	22,935,717	12,688,603	10,247,114
リース資産	2,857,218,790	2,024,392,192	832,826,598
ソフトウェア	182,443,000	182,443,000	0
合　計	3,062,597,507	2,219,523,795	843,073,712

5　ファイナンス・リース取引関係（借手側）

⑴　リース資産の内容

その他固定資産

主として、公的個人認証事業におけるサーバ、コンピュータ端末機及びテスト環境機器（サーバ等）である。

⑵　リース資産の減価償却の方法

1　重要な会計方針「⑴固定資産の減価償却方法」に記載のとおりである。

公的個人認証特別会計財産目録

平成26年３月31日現在

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
普通預金　りそな銀行東京公務部他1件	12,215,725		